

明かされる古代エジプト：エジプト博物館の秘宝

本展は、香港故宮文化博物館とエジプト考古最高評議会による共同開催であり、博物館の戦略的パートナーである中国銀行（香港）の後援を受けています。

古代エジプト文明は、7000年以上前にアフリカ大陸北東部のナイル川流域で始まりました。紀元前3000年頃に統一され、それから古王国時代（紀元前2686年～2160年頃）を経て、ファラオによる支配と神々の制度が確立されました。エジプトの文化と芸術は、中王国時代（紀元前2034年～1650年頃）の発展と完成、そして新王国時代（紀元前1550年～1069年頃）の融合と変化を経て、徐々に最盛期を迎えました。紀元前12世紀からギリシャ・ローマ時代（紀元前332年～西暦395年）にかけて、古代エジプト文明は、地中海世界を含む周辺文明との深い交流と統合を続けました。

本展では、エジプトの主要な7博物館とサッカラ遺跡のコレクションから、彫像、石碑、金の装飾品、ミイラのひつぎ、動物のミイラといった、250点の貴重な遺物を展示します。「ファラオの地」、「ツタンカーメンの世界」、「サッカラの秘宝」、「古代エジプトと世界」という4つのテーマ別セクションで構成されており、約5000年にわたる古代エジプト文明の発展をたどりながら、この古代文明が繁栄した当時の政治、芸術、日常生活、宗教的信念を探求しています。また、サッカラでの発掘調査による最新の考古学上の発見や、古代エジプトと他の文明との活発な交流についても紹介しています。

本展の主要スポンサーは、キャセイと銀聯国際です。展示品は、カイロのエジプト考古学博物館、フルガダ博物館、スエズ国立博物館、ルクソール古代エジプト美術館、ソーハグ国立博物館、マトルー博物館、カフル・エル・シェイク博物館、サッカラ遺跡などからの貸出し物です。また、香港故宮文化博物館と香港中文大学美術館の所蔵品も展示されています。

第1章 ファラオの地

古代エジプトのファラオ時代（紀元前3000年～332年頃）には、約3000年にわたる王朝支配によって文明が栄えました。神聖な王権を象徴するような、強力なファラオの立像や石碑が各地に残っています。古代エジプト人は、自然に対する畏敬の念と観察を広大な信仰体系に変え、オシリス、イシス、ホルスの神話は、世界の創造と秩序観に関する古代エジプト人の考え方を反映しています。古代エジプト人の中心적인信仰は永遠の死後の世界であり、それは絵画が描かれた木棺、葬祭パピルス（死者の書）、護符などの物品から見て取れます。また、食物、被服、住まい、移動など、古代エジプトの人々がどのような日常生活を送っていたかを語る日用品も展示されています。古代エジプト社会のさまざまな社会階級を表す彫像は、高度な階層構造があったことを示しており、それぞれの階級が特定の役割と責任を果たしていたこともわかります。

第2章 ツタンカーメンの世界

少年ファラオであるツタンカーメン（在位紀元前1336年～1327年頃）は謎に包まれた王です。ツタンカーメンの治世は後継者によって意図的に歴史から消され、1922年に墓が発見されて日の目を浴びるまで、その名前は3000年もの間忘れ去られていました。他のファラオの墓に比べると規模は小さいものの、ツタンカーメンの墓はほとんど無傷で発見された数少ない墓のひとつです。有名な黄金のマスクを含む何千もの珍しい宝物が出土しました。

ツタンカーメンが生きたのは、複雑で激動の時代である第18代王朝（紀元前1550年～1295年頃）の後期でした。ツタンカーメンとその家族の像には、当時の政治的、宗教的な激動が映し出されています。それにもかかわらず、同時代には芸術や技術が発達し、金細工、ファイアンス（彩釉陶器）、家具、絵画、彫刻などの分野でそれまでにない黄金期を迎えました。

第3章 サッカラの秘宝

「死者の町」として知られるサッカラは、現在のエジプトの首都であるカイロ近郊に位置しており、古代エジプト最古の首都メンフィスの主要な埋葬地でした。南北約6km、東西約1.5kmの土地には、第3王朝から第13王朝（紀元前2686年～1649年頃）までの王と王妃のピラミッドが20基以上あり、その中にはエジプトの最初のピラミッドであるジェセル王（在位紀元前2686年～2667年頃）の階段ピラミッドもあります。多くの王族やエリート層の墓があるだけでなく、サッカラは神殿が点在する宗教の中心地でした。古代エジプトで最も広大で神聖な動物墓地があり、何百万もの動物のミイラが埋葬されていました。

近年のサッカラでの発掘調査では、多くの発見があり、絵画が施された人形棺を含む多くの重要な遺物が出土しています。これらの発見は、末期王朝（紀元前664年～332年）のエジプト北部における葬儀の慣習や信仰を理解する上で非常に重要です。

第4章 古代エジプトと世界

古代エジプト文明は、他の文明との交流を通じて常に発展し、豊かになりました。特にギリシャ・ローマ時代（紀元前 332 年～西暦 395 年）には、古代エジプトと地中海世界との文化交流が非常に盛んになりました。この時代の文化の融合は、エジプト固有の文明を豊かにしただけでなく、地中海地域全体に大きな影響を与えました。古代の中国とエジプトの遺物の並列展示では、同じ時代に繁栄したこの 2 つの偉大な古代文明の素晴らしい功績に気付かされます。最後に、エジプトの何世紀にもわたる考古学の歴史と、考古学と文化遺産の研究および保存の分野における最近の中国とエジプトの協力について見てみましょう。